

～癒やしのせせらぎを守る～

等々力溪谷の巻



豊かな自然があふれる「等々力溪谷」 グリーンインフラを守り続けていく

等々力キャンパスに隣接する「等々力溪谷」は谷沢川の侵食によってできた、東京23区で唯一の溪谷です。平成11年には東京都指定「名勝」となり、地域住民をはじめ、訪れる人々の癒しのスポットになっています。川沿いには約1kmの散策路が整備され、桜の名所としても知られています。

本学では、この自然豊かな景勝地の保全を目的とした「等々力溪谷清流化プロジェクト」を推進しています。

世田谷区の協力のもと、水質状況の調査研究や藻・菌類などの生息環境調査研究を実施してきました。水生生物の調査を行った際にはドジョウやヒブナ、オイカワ、サワガニなどの生息が確認され、環境省の水質等級1級に相当する指標生物であるサワガニが生息する等々力溪谷は水質が生物学的に良好であることを示しています。「等々力溪谷」の自然を舞台に、大学と地域の連携プロジェクトは、より良い形で続いています。

溪谷沿いの散策路

都会の喧騒を忘れさせてくれる清流の音…。癒しの響を奏でてくれる川沿いに遊歩道を進むと、木々の隙間に湿生植物や武蔵野れき層などの地層も観察できます。さらに等々力不動尊や等々力溪谷公園も隣接しており、四季折々の風景を楽しむことができます。

理工学部 自然科学科 教授

吉田 真史

「等々力溪谷清流化プロジェクト」は小魚やホタルなど、生物が住める環境づくりを目指す取り組みで、本学学生も事例研究のテーマとして関わりながら進められている。都市大の研究力・教育力を生かし、地域・社会へ貢献しています。

～花壇と散歩道作りで地域の魅力アップ～

早渕川 老馬谷ガーデンの巻



江戸時代の歴史スポット老馬谷（ロウバヤト） 沿道を華やかに彩る花壇を造成

横浜キャンパスに程近い、中川駅周辺は多摩丘陵地の港北ニュータウンとして開発された地域で、緑や公園も多く、自然が溢れています。その中川駅周辺のまちづくりを行っているNPO法人「ぐるっと緑道」と横浜市都筑区に東京都市大学が加わり「早渕川・老馬谷ガーデンプロジェクト」が始まりました。

早渕川沿いの市有地に花壇と散歩道を作り、地域の魅力アップを目的としたプロジェクトです。この辺りはその昔、大山街道が通り、老馬鍛冶山不動尊の霊泉の湧があったため、「老馬谷（ロウバヤト）」と呼ばれた、歴史的観光スポットです。センター北までの農業風景を楽しみながら、早渕川沿いを歩けるように現在でも整備が進められています。

都市緑化研究会

東京都市大学公認サークル。横浜キャンパスとNPO法人「ぐるっと緑道」、都筑区と連携して、「早渕川・老馬谷ガーデン（HRG）」で主に活動をしています。テーマを持った各自のガーデン企画、建設、維持活動を行ってきました。

横浜キャンパス 副学生部長
環境学部 環境創生学科 教授
飯島 健太郎

「早渕川・老馬谷ガーデンプロジェクト」など地域と連携した研究を展開。生態系機能と生物の環境適応能力を応用し、地域環境の改善を目指しています。

中川駅周辺では花壇が設置され、華やかな草花で彩られています。